



学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第28号

令和4年12月22日発行

文責 校長 淵上 純

小川小学校との交流学習会 12/13(火)

12/13(火)は、11/24(木)の名護屋小との交流学習会に引き続き、小川小との交流学習会を行いました。

朝は風が強く少々波もありましたが、船に乗り込んだ子どもたちは揺れを全く気にすることなく元気一杯で、約5分で小川島に到着しました。

港には寒い中、小川小の子どもたち11人と先生方が、私たちをお迎えに来られていました。その場で、歓迎式を行っていただき、子どもたちはお互いに元気のよいあいさつを交わすことができました。



【くじら見張所の様子】



【合同スピーチの様子】

学校に行く前に、小川島の東側にある佐賀県重要有形民俗文化財の「小川島鯨見張所」を案内していただきました。小川島の小学生から見張所についてクイズ形式で説明があり大変勉強になりました。

その後、小川島の風景を楽しみながら学校まで歩いて行き、2時間目から交流学習に入りました。

2時間目は、広いホールに集合し小学生全員で「合同スピーチ」を行いました。まず、小川小5年生から「将来の夢」についてスピーチがあり、その内容についての感想や質問等、意見交換を行いました。

小学校低学年の子どもたちは、参観している先生方も多いので、恥ずかしがらずに大きな声でしっかり自分の考えを言えるかな？とちょっと心配していましたが、どの子どもも積極的に発表し、心配する必要は全くありませんでした。

司会者の質問に対して、的確に自分の考えを発表している姿を見てとてもたくましく感じました。日頃から「実践的コミュニケーション能力」を意識した活動の成果だと思います。

次に、加唐小6年生の児童から「加唐島にあればいいなと思うもの」について同様に意見交換を行いました。加唐小4年生の児童が上手に司会進行を行い、あっという間に時間が過ぎました。



【3,4年授業の様子】



【 集合写真 】

3時間目は、1, 2年の低学年、3, 4年の中学年、5, 6年の高学年に分かれて、各教室で授業が行われました。それぞれの教室で楽しい授業が行われ、すぐに小川小の子どもたちとも一緒に仲良く活動することができていました。

前回の名護屋小との交流会と同様、子どもたちが活き活きと活動している姿が、本当に印象的でした。まだまだコロナ禍ではありますが、感染対策を行いながらできるだけこのような交流を進めていきたいと思ひます。

版画カレンダー制作 12/15(木)

12/15(木)3, 4 時間目に、令和 5 年版の版画カレンダーの制作を行いました。本日は、子どもたち一人ひとりが制作した版木(発砲スチロールみたいな版木です)に、スポンジローラーで版画インクを塗り、一枚一枚丁寧にバレンで刷り上げていきました。一人10枚、合計80枚が完成しました。昨年同様に島内に配付しますので、ぜひ、ご覧ください。



手洗い指導 12/15(木)



12/15(木)お昼の掃除終了後、児童生徒たちに養護教諭の森先生から手洗い指導が行われました。手洗いの6つのポイントを歌った音楽に合わせて手洗いをしました。

今年の冬は、コロナとインフルエンザの両方が流行する可能性があると言われていひます。感染対策の一環として、しっかりと手洗いを習慣づけましよう。

第2学期 終業式 12/22(木)

12/23(金)は荒天が予報されており、スクールボートが欠航のおそれがあるので、12/22(木)に繰り上げて2学期の終業式を行いました。

子どもたちには、約2週間の休みですが、2学期の「反省」を踏まえて、「目標」をもって過ごしてほしいということを下記の「格言」を使って話をしました。

■ 反省

「進歩とは、**反省**の厳しさに正比例する」

本田宗一郎 (自動車HONDAの創業者、技術者)

■ 目標

「**どの港へ向かうのか**を知らぬ者には、いかなる風も順風にならない」

セネカ (古代ローマ帝国の政治家、哲学者、詩人)

楽しい思い出作りと規則正しい生活や家庭学習をしっかり行い、充実した冬休みにしてほしいと思ひます。3学期の始業式では、新たな目標を胸に成長した皆さんに会えることを楽しみにしてひます。